

ご支援くださっている皆さまへ

インフルエンザが流行していますね。皆さまや皆さまのご家族は大丈夫ですか？

時間が掛かってしまいましたが、
やっと団体のホームページができました！！
これまでFacebookページしかなかったのですが、
これからはホームページでも活動の様子を
伝えていきますね。

ホームページ作成にあたっては、皆様から
お寄せいただいたご寄附を活用させていただきました。
どうもありがとうございました。

「もっとこうの方が良い」などご意見ありましたら
ぜひお知らせください。

ホームページURL：

<http://www.kizuna-shinbun.org>



下記日程で、県外ボランティアの受け入れを行ないます。宿泊場所などの関係で、来年度は県外のボランティアの受け入れは出来ないかも知れません。ぜひその前に、一度新聞配布に来ていただけたらうれしいです（県内の皆様もぜひ）。

◆きずな新聞配布ボランティア

【日程①】3月18日（土）朝集合～20日（月・祝）18時解散 ※19日は女川復興祭&市内視察

【日程②】3月25日（土）朝集合～26日（日）18時解散

【集 合】初参加の方…初日8時30分（オリエンテーションを行ないます）／経験者の方…初日9時45分

【集合場所】石巻駅から徒歩10分程度の場所（参加者にお知らせします）

- ◎現地集合、現地解散です。石巻までの交通費は自己負担をお願いします。
- ◎現地での交通手段はこちらでご用意します（公共交通手段で仮設住宅には行けません）。
- ◎宿泊場所を希望される方は、1泊2000円の民泊をご紹介します。
- ◎事前にボランティア活動保険へのご加入をお願いいたします。
- ◎ホームページよりお申込みをお願いいたします。

今年もまた3月11日が近付いてきました。私は3月11日は毎年、石巻・南浜地区の「がんばろう！石巻」看板の前で行なわれる追悼行事のお手伝いをさせていただいています。犠牲になられた方への追悼と、残された私たちの「がんばっていこう」という想いを込めて、石巻で亡くなられた方と同じ数の約3000個の灯籠を灯し、共に祈る行事です。当日、灯籠製作や灯籠並べ、キャンドル点火などをするボランティアを募集しています。ご興味のある方は、ぜひご連絡ください。

◆がんばろう！石巻の会

<https://gannbarouishinomaki.jimdo.com>



2017年2月20日
石巻復興きずな新聞舎・代表 岩元暁子

<石巻復興きずな新聞舎 連絡先>

Tel: 090-6686-8317 Mail: kasetsukizuna@gmail.com

FB: www.facebook.com/kasetsukizuna

HP: <http://www.kizuna-shinbun.org>

【あさいちで語り切れなかったこと。】

NHKあさいち「ご存じですか？いざという時に支えてくれる"災害支援のプロフェッショナル"」をご視聴くださった皆様、どうもありがとうございました。

知っている方からも、知らない方からも、たくさんのメッセージをいただき、「ありがたいなー」と思うのと同時に、「上手く思いを話し切れなかったなー」と凹んでいます（笑）。（緊張は全然していなかったのですが、「私がやってるのは『災害支援』ではないし、私自身『プロフェッショナル』だなんて言えないよー><」という思いが邪魔して、語り切れなかったなーと）

というわけで、今さら感はありますが、「こう答えたら良かったなー」を書いておこうと思います。放送を観てくださった方も、観ていらっしやらない方も、読んでいただけたらうれしいです。

=====

【Q】長期で活動する支援者は必要ですか？

【A】現地に長期で滞在して活動する支援者も、短期のボランティアも、両方必要だと思います。

長期で活動し現地の状況や課題を知る人がいるからこそ、短期のボランティアがスムーズに活動できたり、よりきめ細やかな支援ができるというメリットがあります。一方で、全国から訪れる短期のボランティアが大勢いるからこそ、住民さんは「自分たち（被災者）はまだ忘れられていないんだ」と思え、それが心の支えになることもあります。

発災から時間が経ってくるとメディアの報道も減り、住民さんの中には「自分はまだこんなに大変な生活をしているのに、被災地はもう忘れられてしまっているのだろうか…」という思いを抱えている方は少なくありません。「忘れていないよ！応援しているよ！一緒にがんばろう！」という気持ちを行動に表したボランティアの存在は、住民さんの大きな心の支えになっていると思います。

私たちの団体では、今でも年間150人ほどの県外のボランティアを募集しています。関心のある方はホームページからチェックしてみてください。

=====

【Q】活動資金は？

【A】私たちは長期で、安定的に、きちんと責任を持って活動にコミットしていくために、助成金を得て活動を続けています。ただ、助成金は使用用途に制約があったり、単年度でしかも途中で空白期間があったり（4~5月に申請して、6月~翌3月までの活動経費が対象など）するため、寄付金などの自主財源を得ることも重要だと思います。

私たちは団体立ち上げ時にクラウドファンディングで資金を集めました。お金そのものももちろん有難く、大変助けになりましたが、それ以上に支援者からのメッセージに励まされましたし、「大切なお金をお預かりして、活動していくんだ」という気持ちになり、身が引き締まる思いでした。今も東北に想いを寄せてくださる方がいることに大変感謝です。

寄付をしてくださる方に、ひとつお願いがあります。ぜひ、寄付して終わりではなく、ご自分が寄付した団体の活動をしっかり見ていてください。お金もありがたいのですが、何より「被災地に関心を寄せてくださっている方がいる」ということに励まされます。そしてもちろん、ご自身の寄付がどのように使われているかもチェックしてください。

【Q】いつまで支援を続けるつもりですか？

【A】私は、「仮設住宅があるうちは真の復興とは言えない」のではないかと考えています。だからこそ、前の団体から活動を引き継いで今の団体を立ち上げたときに、「『最後のひとりが仮設住宅を出るまで』を目標に活動を続けて行こう」と決めました。

新しいことを「始める」より「続ける」ことの方が10倍大変ですし、「お金（活動資金）」と「人（担い手）」がないと、こういった非営利の活動は続けられないので「絶対に最後まで続けられる」という保証はありませんが、気持ちの上では「最後のひとりが仮設住宅を出るまで」と思っています。

=====

【Q】視聴者からのお便り「東日本、熊本と、細々と自分に出来ることをとって支援をしてきたが、それをネットで『欺瞞だ！偽善だ！恥を知れ！』などと叩かれ、心が折れそう。気持ちの安定や保ち方について教えてください」について、どう考えますか？

【A】「人の役に立ちたい」ってそんなに「特別な感情」でしょうか？ 私は「誰かの（何かの）役に立ちたい」って、人として、とても「自然な感情」だと思っています。人は誰でも「ありがとう」と言われると嬉しいものです。それが生きる意味になったりします。それに「誰かの役に立ちたい」って、突き詰めていけば「自分が暮らす地域、社会を良くしたい」ってことですから、「自分のため」でもあると思います。いつ私も被災者になるか知れないし、被災地でなくたって、孤独死や過疎はとても身近な問題です。明日は我が身。自分が暮らしたい未来の地域や社会のために、今少し行動している、それだけのことです。だから「（支援は）偽善だ！」と言う人に対しては、「え？！人として、普通じゃない？！」と思うようにしています。

ちょっと話は変わりますが、私は昔、石巻で行なっている活動について、地元の友人たちの前で話せなくなったことがありました。支援活動やボランティアをしていると話すと、「へー！偉いねー！！」と言われ、そのつもりはないのに武勇伝を話しているようになってしまうことが多々あります。「別に褒めてもらいたくてやっているわけではないのに…」となって、話せなくなってしまいます。そういうときは、石巻の住民さんの顔を思い浮かべるようにしています。「住民さんが今の辛い心のうちを私に話してくれたのは、一体何のためだったろう」と考えます。そして、「この現状や課題を一人でも多くの人に伝えるのは、聴いて、知った私の使命だ」と思います。勇気を出して話してみると、最初は「へー！すごいねー！」とどこか他人事だった友人たちも、しっかり話を聞いてくれたりします。話を聞いた友人がボランティアに来てくれたこともありました。伝わるって本当にうれしいです。

そして、どうしても勇気が出ないとき、心が折れそうなときは「仲間」と語ります。一人では出来ないことも、同じ志を持つ人たちとなら出来たり、乗り越えられたりします。私も大切な仲間、同志がたくさんいるからこそ、今も活動を継続することが出来ています。

今も支援を続けられていること、素晴らしいと思います。一緒にがんばりましょう！